

# 日米医学医療交流財団 アメリカ短期看護研修助成

## 研修報告書 (2015年度 助成者)

作成日 2015年11月3日

氏名 (フリガナ)	長谷川 恵美 (ハセガワ メグミ)
研修地	アメリカ・オレゴン州ポートランド市
研修期間	2015年10月11日 (日) ~ 10月17日 (土)
所属機関名	草津ハートセンター
身分	看護師

今回の研修で最も印象的であったのが、ポートランド大学看護学部ラーニングリソースセンターにおける看護学生の教育でした。シミュレーションラボストーリー内では、臨床に近い場面を再現できる実習室の設備でした。ラボストーリー内では学生を観察できるマジックミラーを備えた観察制御室やビデオが設備され、学生が行った行動を確認し、課題を見つけることで的確なフィジカルアセスメントが行える教育となっていました。

アメリカの看護師は、医療行為の一部を行うため、判断の根拠となるフィジカルアセスメントは医師同様のレベルが必要となり、それらができるためにも学生教育の中でのトレーニングの実施が徹底されていました。日本でも同様の設備があるところもあるようですが、全部の看護学校にはないのが現状です。

学生の時からくり返し臨床に沿った教育を実践することで、基礎は看護学生時にトレーニングされているので、実際に現場に立った時、的確な判断や行動が入職早期でも可能になるのではないかと思いました。

また、経験を積んでからでも現場でトレーニングを行う必要も感じました。

今回の研修の学びを持ち帰り、日々の看護に生かしていきたいです。貴重な経験をした7日間でした。